

各位

全2ページ
登録速報(2022-078)
2022年 2月25日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部普及課

登録速報

下記の通り、注意事項変更届けを提出しましたので、ご連絡します。

提出日： 2022年2月25日

(注意事項は届けを提出した段階で、登録変更となります)

記

- 1 農薬の登録番号及び名称
登録番号：第24346号
名 称：ブレードスタークルゾル
- 2 変更を生じた年月日
令和4年 2月25日
- 3 変更を生じた事項及び変更の内容
農薬登録申請書第7項を以下のとおり変更する。

【変更前】

- 1) 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきること。
- 2) 本剤は長時間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出すこと。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌すること。
- 3) 本剤を本田の水稻に対して希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- 4) 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ること。
 - ① 散布は散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - ② 微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
 - ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管とその他散布装置の十分な点検を行うこと。
- 5) たばこ、けいとう及びだいず、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- 6) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 7) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ② 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。

- 8) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【変更後】

- 1) 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきること。
- 2) 本剤は長時間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出すこと。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌すること。
- 3) 散布液調製後はそのまま放置せずできるだけ速やかに散布すること。
- 4) 本剤を本田の水稻に対して希釈倍数 300 倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- 5) 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ること。
 - ① 散布は散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - ② 微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
 - ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管とその他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ④ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分注意すること。
 - ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
 - ⑥ 機体の散布装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は、河川等に流さないこと。
- 6) たばこ、けいとう、だいず、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- 7) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 8) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 9) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ② 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。

4 変更の理由

注意事項の表記をブレードスタークルR ソルと統一するため。

以上